

（５） 3月11日に発生した東日本大震災について

この度発生した東日本大震災では、大きな地震や大津波が押し寄せる中、被災地の人々は、必死の思いで逃げのびました。逃げのびた後も、学校の体育館などの避難所生活での狭い空間で、プライバシーもなく、仮設住宅に移っても新しい生活環境に慣れずに不安な日々を過ごしています。

さらには放射能汚染に大きな不安を抱きながら、これからどのようにしていけばよいのかわからない状況に立たされています。

特に目の不自由な人は、震災に関する情報やコミュニケーションについて、避難時や避難所生活で、避難の知らせやトイレの位置、食べ物配布場所がわからなかったりなど、目が不自由なことで大変な思いをされています。

震災が発生したときに、目の不自由な人の生活が困難にならないような配慮が願われています。

【平成23年4月20日の

仙台駅前の様子】

